令和6年度学校評価結果報告書

桶川市立桶川西中学校 校長 小野 大雄

- 1 目指す学校像 「きれいな環境の中で豊かな心と豊かな学びがある学校」
- 2 評価結果

| 組 1 て、校務分掌等が機 か同じ方向を向いて教育活動を推進して 年に所属する職員が、チームの一員として、校務分掌等が機 織 いる。校務分掌は適切に機能している。 でそれぞれの役割を果たし、自己肯定感を高めている。そして、協力的で明るい | 2 評 | 仙結 | ₹ - | Ī | | |
|--|-------------|-----|-------------|-----|-----------------------|--|
| #価 説明及び学校の考え 学校整育 日標の達成に向けて、校務分常等が機能・ いる。校務分常等が機能・ いる。校務分常は適切に機能している。 から、校務分常等が機能し、 いる。校務分常は適切に機能している。 から、校務分常は適切に機能している。 から、校務分常は適切に機能している。 を参加といる。 と他の方面といる。 と他の方面といる。 と地の方面となり、全地に所属する職員が、チームの一員としてそれぞれの役割を果たし、自治育で関心が雰囲気が生産の方で明るいなが関気がある。 教員問のよい雰囲気が生産の方でいる。 と生産の情報は、常に学年で共有する体を前向さな取組に影響を与えると考える。 と生産の情報は、常に学年で共有する体を前向さな取組に影響を与えると考える。 と生産の学ぶ意欲を強起するよう。わかる授業を行うようにしている。 りの% がら課題を解決するような授業規制を含むしたりでもいる。 とは、学習形態や指導にし、生徒が主体となって学び合いなが高温を対した投業を展開することが、できたしからからでいる。 ことができた。 効果的な ICT の活用について、 のないる。 (ICT の活用と対している。) 生徒情等表異を展開することができた。 効果的な ICT の活用について実践を共有し学力向上につなげている。 ことができた。 効果的な ICT の活用について実践を共有し学力向上につなけている。 かいとの方に ILで を活用した授業を展開することが、 学 フ調査の結果の数値に表れている。 を対した投業が行われている。 のな 上で に ICT を活用した授業を展開することが、 学 フ調査の結果の数値に表れている。 では 大きない ことができた。 効果的な ICT の活用について実践を共有し学力向上につなけている。 ことができた。 効果的な ICT の活用について実践を共有し学力向上につなけている。 な 単独を対応を行ってきた。 組織的対応や保証 が に となって行う ICンクシャツデー」や、 生徒情等本員との連携をきらに強化し、確実な生 検が海体制を確立していく。 民 生徒情等とない に に となっを行き ITで いて ICT を IST いて ICT を IST いて ICT を IST いて IST い、 ICT を IST いて IST いて IST いて IST い、 ICT を IST に IST で IST に ICT を IST に ICT に IST に ICT を IST に ICT を IST に ICT を IST に I | 領域 | No. | 評価項目 | | 自己評価 | 学校関係者評価 または |
| 程 | | | | 評価 | 説明及び学校の考え | 学校運営協議会における評価 |
| 祖 | 織 • 運 | (1) | 学校は、学校教育 | | 校長のリーダーシップのもと、全職員 | て、全教職員が適切に機能している。学年に所属する職員が、チームの一員としてそれぞれの役割を果たし、自己肯定感を高めている。そして、協力的で明るい雰囲気がある。教員間のよい雰囲気が生 |
| (1) て、校務分等等が機能し、組織的に取り組んでいる。 を務分率は適切に機能している。 をあかている。そして、協力的で明るいいる。を表して、協力的で明るいいる。をして、協力的で明るいいる。をして、協力的で明るいいる。をものでいる。そして、協力的で明るいいる。をして、協力的で明るいいる。をして、協力的で明るいいる。をものでいる。そして、協力的で明るいい。を表して、となる高めている。そして、協力的で明るいい。を表して、となる高めている。そして、協力的で明るいい。を高めている。そして、協力的で明るいい。を高めている。そして、協力的で明るいい。を高めている。そして、協力的で明るいい。を高めている。そして、協力的で明るいい。を高めている。そして、協力的で明るいいる。をも高めている。そして、協力的で明るいい。を高めている。そして、協力的で明るいいる。をも高めている。そして、協力的で明るいい。そのこれの意力を高数でいる。そして、協力的で明るいい。を高めている。そして、協力的で明るいいる。を高めている。そして、協力的で明るいい。を高めている。そして、協力的で明るいい。その言語を高めている。そして、自己肯定感力を高力を応力を表して、は、解決できており、生徒的学科を与のでいる。の前的きな取組に影響を与えると考える。 (2) 生徒の学ぶ意欲を整理者よう、わいる授業を行うようなりである。として、自己肯定感力でいる。教徒間のよいな報目のよりな組に影響を与えると考える。 (2) 生徒の学者を持ついて、に、経験がおりできていて協働的な学びを確定している。 に指進している。 このことが、学力調査の結果の数値に表れている。 学習指導に関して、このことが、学力調査の結果の数値に表れている。 とせんに対応している。 として、施力に対しのでは対していては、では、いいとの事項を入力には、では、いいとの事項を入力には、では、いいとの事項を入力には、では、いいとの事項を入力には、いいとの事項を入力には、いいとの事項を入力には、に対したのが表別、やいいとのの解消、を目指し、「いいとめの課剤」を目指し、「いいとめの課剤」を目指し、「いいとめの課剤」を目指し、「いいとめの解消」を目指し、「いいとめの事剤」を目指し、「いいとめの事剤」を目指し、「いいとめの表別、やいいとのの解消」を目指し、「いいとめの事剤」を目指し、「いいとめの表別、やいいこのの解消、を目指し、「いいとめの事剤」を目指し、「いいとめの事剤」を目指し、「いいとめの表別、やいいとのの解消」を目指し、「いいとめの事剤」を目指し、「いいとめの事剤」を目指し、「いいとの情報と表し、「気付く目を育成する研修を実施したりするなど、大通理解共通行動で取り組むでいる。 な に気付く目を育成する研修を実施したりするなど、大通理解共通行動で取り組むできている。 とれるなど、大通理解共通行動で取り組むできている。 とれるなど、大通理解共通行動で取り組むできると、大通理解共通行動で取り組むできると、表しいとは、なるに対しないる。 とれるは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | | | 目標の達成に向け | | が同じ方向を向いて教育活動を推進して | |
| # 能し、組織的に取り 組んでいる。 | | 1 | て、校務分掌等が機 | | いる。校務分掌は適切に機能している。 | |
| 理 | | | 能し、組織的に取り | | 働き方改革の観点から業務の見直しが課 | |
| (1) 学年は、学年目標 | | | 組んでいる。 | | 題である。 | |
| に基づき、協働体制 A 割ができており、生徒指導も学年として 対応している。 引く続き協働体制を強化 し、迅速な対応、情報共有を図っていく。 学習指導に関して、ICTを効果的に 活用している。 グルーブ活動等、教材研 がしている。 がら課題を解決するような授業展開をさ 意識した授業が行われている。 多 報業の由上が図られており、生徒の学習意欲も向上している。 このことが、学 力調査の結果の教値に表れている。 このことが、学 力調査の結果の教値に表れている。 ことができた。 効果的な ICT の活用について実践を共有し学力向上につなげていく、 | | (1) | 学年は、学年目標 | | 生徒の情報は、常に学年で共有する体 | 3. |
| (2) 生徒の学ぶ意欲 を喚起するよう、わ A かる授業を行うようにしている。 | | | に基づき、協働体制 | A | 制ができており、生徒指導も学年として | |
| 全様の学ぶ意欲 を喚起するよう、わ | | 3 | がとれている。 | 92% | 対応している。引く続き協働体制を強化 | |
| | | | | | し、迅速な対応、情報共有を図っていく。。 | |
| | | (2) | 生徒の学ぶ意欲 | | 主体的・対話的で深い学びの実現に向 | 活用している。グループ活動等、教材研究がしっかりできていて協働的な学びを 意識した授業が行われている。教職員の 授業力の向上が図られており、生徒の学 |
| ### | | | を喚起するよう、わ | | け、授業改善がなされている。課題を明 | |
| 学 | | 4 | かる授業を行うよ | | 確にし、生徒が主体となって学び合いな | |
| 1 | - | | うにしている。 | | がら課題を解決するような授業展開をさ | |
| 注の工夫・改善を行 | | | | | らに推進していく。 | |
| お、学力向上に努めている。(ICT の活用を含む) 生徒の観察等を通じて不登校や問題を描して不登校や問題でいる。 塩にて不登校や問題を指導を表している。 塩にて不登校や問題を表している。 塩にて不登校や問題を表している。 塩にて不登校や問題を表している。 塩にて不登校や問題を表している。 塩を対応を行ってきた。組織的対応や保護者との連携をさらに強化し、確実な生物を対応については、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対し | 指 | (2) | 学習形態や指導 | | 主体的な学びを推進するためのツール | |
| (3) 生徒の観察等を 通じて不登校や問 格 | 導 | | 法の工夫・改善を行 | | として、ICT を活用した授業を展開する | |
| ている。(ICT の活 用を含む) 生徒の観察等を 通じて不登校や問 8 題行動、いじめ防 上・早期発見に努め ている。 ・ (3) 地域や家庭との 連携・協力に努め生 育 相 進している。 4 (3) 地域や家庭をの 連携・協力に努め生 有 様の健全育成を推 進している。 4 (3) 地域や家庭との 連携・協力に努め生 育 で で で で で で で で で で で で で で で で で で | | 5 | い、学力向上に努め | | ことができた。効果的な ICT の活用につ | |
| 生 (3) 生徒の観察等を 通じて不登校や問 題行動、いじめ防 止・早期発見に努め ている。 本となって行う「ピンクシャツデー」や、 無言清掃は、効果的な取組として継続してほしい。いじめ事案の対応については、改めて指導・連絡体制を見直すことで、 生指導体制を確立していく。 なめて指導・連絡体制を見直すことで、 生徒・保護者との信頼関係を大切にしていては、改めて指導・連絡体制を見直すことで、 生徒・保護者との信頼関係を大切にしていては、いてほしい。「いじめの撲滅」や「いじいでは、 なめて指導・連絡体制を見直すことで、 生徒・保護者との信頼関係を大切にしていては、 なめて指導・連絡体制を見直すことで、 生徒・保護者との信頼関係を大切にしていては、 を対していては、ことを全職員に周知したり、生徒の変化に気付く目を育成する研修を実施したりするなど、共通理解共通行動で取り組むできてある。 相 進している。 本籍 | | | ている。(ICT の活 | | いて実践を共有し学力向上につなげてい | |
| 生 通じて不登校や問 | | | 用を含む) | | <∘ | |
| 様 題行動、いじめ防止・早期発見に努めでいる。 | 徒指導・教育相 | (3) | 生徒の観察等を | | 生徒指導委員会・教育相談部会を毎週 | 体となって行う「ピンクシャツデー」や、 無言清掃は、効果的な取組として継続し てほしい。いじめ事案の対応については、 改めて指導・連絡体制を見直すことで、 生徒・保護者との信頼関係を大切にして |
| 接 | | | 通じて不登校や問 | | 実施することで、いじめの早期発見や迅 | |
| 連 ・ 早期発見に努めている。 護者との連携をさらに強化し、確実な生徒指導体制を確立していく。 生徒・保護者との信頼関係を大切にしていってほしい。「いじめの撲滅」や「いじいってほしい。「いじめの撲滅」や「いじいってほしい。「いじめの解消」を目指し、「いじめ防止基本方針」を「生徒指導提要」に示されていることを全職員に周知したり、生徒の変化生委員との懇談会を実施し、生徒や家庭は、生徒や家庭である。 相 進している。 本 生委員との懇談会を実施し、生徒や家庭である。 に気付く目を育成する研修を実施したりである。 | | 8 | 題行動、いじめ防 | | 速な対応を行ってきた。組織的対応や保 | |
| でいる。 徒指導体制を確立していく。 いってほしい。「いじめの撲滅」や「いじめの撲滅」や「いじめの推滅」を「いじめの推演」を目指し、「いじめ防止基本方針」を「生徒指導提要」に示されていることを全職員に周知したり、生徒の変化に気付く目を育成する研修を実施したり、生徒の変化に気付く目を育成する研修を実施したり、するなど、共通理解共通行動で取り組むべきである。 | | | 止・早期発見に努め | | 護者との連携をさらに強化し、確実な生 | |
| 教 連携・協力に努め生 | | | ている。 | | 徒指導体制を確立していく。 | |
| 育 連携・協力に努め生 A て、地域からの声に迅速に対応した。民 ことを全職員に周知したり、生徒の変化に気付く目を育成する研修を実施したり、生徒の変化に気付く目を育成する研修を実施したりである。 相 進している。 環境についての情報交換を行うなど、地 するなど、共通理解共通行動で取り組むべきである。 | | (3) | 地域や家庭との | | 下校時や放課後等の問題行動につい | めの解消」を目指し、「いじめ防止基本方 |
| 1 | | | 連携・協力に努め生 | | て、地域からの声に迅速に対応した。民 | ことを全職員に周知したり、生徒の変化に気付く目を育成する研修を実施したり するなど、共通理解共通行動で取り組む |
| 進している。 環境についての情報交換を行うなど、地 9 3 など、 共通程序共通行動 C 取り組む | | 9 | 徒の健全育成を推 | | 生委員との懇談会を実施し、生徒や家庭 | |
| | | | 進している。 | | 環境についての情報交換を行うなど、地 | |
| | | | | | 域とも連携して健全育成を推進した。 | |

| | 1 | | | | Import at the end of the formation of |
|-----------|-----|------------|----------|----------------------|---|
| | (4) | 部活動を積極的 | | 部活動をとおして、生徒が継続的に運 | 部活動の外部委託、地域移行完了に向けて、市教委の動きも見ながら、部活動 |
| 健康教 | | に推進し、継続的に | A 88% | 動する態度と能力を育成すると同時に人 | の取組を充実させてほしい。 |
| | 10 | 運動する態度と能 | | 間力も育んでいる。今後は、部活動地域 | |
| | | 力を育成している。 | | 移行を見通しつつ、限られた状況の中で | |
| | | | | 充実させていくことが大切である。 | |
| 育 | (3) | 食に関する指導 | | 毎月の給食だよりの発行や食育に関す | |
| 月 | | を推進し、給食指導 | A | る掲示、家庭科の授業等を充実させるこ | |
| | 12 | を充実させている。 | 92% | とにより、食に関する生徒の意識を高め | |
| | | | 94/0 | ることができた。食物アレルギー対応に | |
| | | | | ついても、確実に行うことができた。 | |
| | (5) | きれいな学校を | | 短時間で集中して行う無言清掃が定着 | 学校周りの除草については、今年度は |
| | | 目指し清掃活動、ボ | A 88% | し、生徒が主体的にきれいな学校づくり | 50周年の全体除草があり、学校、地域、 保護者で協力して取り組めたのは、よかった。今後継続していく方法について検 討していくことが大切である。 |
| 246 | 13 | ランティア活動の | | に取り組めるようになった。環境委員や | |
| 学 | | 向上に取り組んで | | 運動部等による自主的な落ち葉清掃の活 | |
| 習環 | | いる。 | | 動も充実してきている。 | |
| | (5) | 花の栽培や植物 | | 学校応援団や生徒・保護者・地域の方 | |
| 境 | | の栽培等を通して | A 90% | の協力を得て50周年に向けての除草活動 | |
| | 14 | よりよい環境づく | | を行うことができた。多くの方の協力が | |
| | | りを行っている。 | | あって教育活動が進められることについ | |
| | | | | て感謝の思いを持つことができた。 | |
| | (6) | 校内研修の課題 | | 「個別最適な学び」と「協働的な学び」 | 教職員事故防止については、チェック |
| 144 | | が設定され、計画的 | A 81% | のある学習指導について、研究の 1 年目 | リストを効果的に活用するなど、自分事 として捉える研修の継続が重要である。 |
| 教 | 15 | に実施されている。 | | ということで試行錯誤をしながら進め | COCICONIDO NELIDIDO EX COSO. |
| 職 | | | | た。今後の進め方について今年得たもの | |
| 員 | | | | を生かしていく必要がある。 | |
| D) | (6) | 学校は職員に服 | | 毎月の倫理確立研修会や校長室だよ | |
| 資 | | 務規律の確保に努 | | り・職員室だよりによる教職員事故に関 | |
| 質 | 16 | めている。 | A | する情報共有を通して、当事者意識を高 | |
| 向 | | | 94% | めることができた。引き続き、教職員事 | |
| 上 | | | | 故防止について、適切な時期に指示・指 | |
| | | | | 導を実施していく。 | |
| 家庭 | (7) | 各種便りを発行 | | 学校だよりや学年通信の毎月の発行 | 地域との連携をどう図るか、防犯等、 |
| | | し理解や信頼が得 | A | や、学校情報メールの活用などを通じて、 | 安心安全について地域との連携をどうするか、課題である。地域でも子どもを中心に据えたイベント等に集まってくる。 |
| | 17 | られるようにして | | 学校の教育活動について、家庭・地域の | |
| • trib | | いる。 | 95% | 理解を得られるようにした。 | それをどう生かしていくか、学校と地域 |
| 地 | | | | | とで一緒に考え、工夫していくことが大 切である。 |
| 域 | (6) | 積極的に学校公 | | 授業参観、保護者会、学校行事やその | |
| ک | | 開、HP 更新を行い | Α. | 説明会等をとおして理解を得られるよう | |
| の | 19 | 理解と信頼を得る | A | にした。さらに日常の様子を学校 HP で | |
| 連 | | ようにしている。 | 93% | 伝えることで、学校理解につなげ信頼関 | |
| 携 | | | | 係を構築した。 | |
| | | | | | ı |

^{*}自己評価については、12月に全教職員で行いました。

^{*}評価については、A…8割以上(4段階評価平均3.2以上)、B…6割以上(4段階平均2,4以上)で評価をしました。それ以下はCとなります。